

## 令和元年度「文化を基軸とした市政運営」に係る重点方針に関する

## 主な取組例

(単位：千円)

**方針 1** 新たな経済的価値の創出1-① 文学や映画を対象とする顕彰制度の創設 **文市**

## ◆京都文学賞の実施（新規）(18,000)

文化芸術都市・京都の発展に大きな役割を果たしてきた文学を対象とする新たな顕彰制度「京都文学賞」を創設し、京都を題材とする小説を募集・表彰することにより、京都における文学の振興に寄与するとともに、「文化都市・京都」の発信や京都の歴史と魅力の再認識、都市格の向上につなげる。

## ◆映画に係る新たな顕彰制度の創設（新規）(3,000)

京都が培ってきた映画文化の継承と更なる振興を図るとともに、時代劇をはじめとした京都での更なる映画製作につなげるため、京都ならではの映画を対象とした新たな顕彰制度を創設する。

1-② KYOTO CULTIVATES PROJECT～KYOTO STEAM―世界文化交流祭―の開催～ **文市**（新規）(200,000)

芸・産学官の連携による「KYOTO STEAM―世界文化交流祭―」※の開催を中心に、文化創造を担う次世代人材の育成、国際的ネットワークの構築などの取組を実施する。

※2020年3月に岡崎エリアを中心に、国際アートコンペティション、アーティスト集団「ダムタイプ」の新作公演や古典文学×伝統芸能×メディアアート「新猿楽記」の新作上演など、「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとし、文化芸術の新たな可能性と価値を世界に問う新しい形態の「国際的な文化・芸術の祭典」を開催

1-③ 芸術家のグローバルアート市場への進出支援 **文市**（新規）(16,500)

アーティストやギャラリーの経済活動の場を拡大するため、京都市内で活動するアーティストに対し、アート専門家によるコンサルティングの機会の提供や、グローバルアート市場における発表・販売機会を提供し、芸術家の将来的な社会的・経済的自立の支援を行う。

1-④ 京都文化カプロジェクト 2016-2020 の実施 **文市**（新規）(25,000)

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向け、市・府・商工会議所等のオール京都で文化の祭典を開催する。平成 31 年度は、「くらしの文化」をテーマに、茶道やいけばなをはじめとする体験型イベントを「文化×知恵産業展」（仮称）と連携して開催するほか、文化事業の情報を集約し、イベントガイドとして発行、WEB 発信するとともに、2020 年度の総合的な祭典に向けた準備、推進フォーラム開催、機関誌発行等を行う。

1-⑤ 二条城おもてなし環境向上事業 **文市** (新規) (155,800)

二条城内の園路・通路の改修や花木の充実等を進めるとともに、英語版二条城公式ガイドブックの作成やチケット販売多様化等を実施し、ハード・ソフトの両面で二条城のおもてなし環境の向上に向けた取組を推進する。

1-⑥ ロケ地情報の発信強化・作品誘致支援事業 **産観** (新規) (17,200)

多様なエリアのロケ地の掘り起こしや、京都にゆかりのある作品制作を支援するとともに、より正確で詳細なロケ地情報や支援メニューの発信を強化することで、市内全域への更なる誘客を推進する。

1-⑦ 観光・文化コンテンツの発信力強化 **産観** (新規) (127,300)

国内外からの観光客に、より奥深い京都の魅力を発信し、京都観光の満足度を高めていただくため、エリア別、朝・夜観光、文化体験の紹介等の魅力的なコンテンツの充実や、多言語情報の強化、AIを活用した観光案内の自動応答プログラムの導入、マナー情報の発信等を行う。また本市が発信すべき情報（災害等）の即時発信や閲覧数の向上、ウェブデザインの構築など、オフィシャルサイト全体のクオリティを統括・管理するため、ITやデザイン等のサイト構築、情報発信、分析等について高い見識を持つ、ウェブ統括官を京都市観光協会に配置する。

1-⑧ 京都の文化資源の魅力発信事業 **産観** (継続) (10,000)

民間事業者と連携を図り、新たな視点で、京都が持つ多彩な文化の魅力を広く発信していくことによって、幅広い層の観光客の誘客と分散化を図る。

1-⑨ 京都経済センターを核とした産業振興事業 **産観** (新規)

「京都経済百年の計」として、経済界、京都市、京都府によるオール京都体制の下、「京都経済センター」を核として、新たなビジネスモデルの創出や次代の京都産業を担う人材育成のほか、「文化×知恵産業展覧会（仮称）」の開催をはじめとした京都企業の情報発信を行う。

◆「文化×知恵産業展（仮称）」の開催 (10,000)

伝統産業や先端産業等が文化と融合して形成された京都産業の更なる振興に向け、オール京都体制の下、京都の伝統産業の実演や商談会等を実施する。

1-⑩ 琵琶湖疏水通船事業を核とした沿線地域の魅力向上・発信事業 **上下水** (継続) (34,000)

「琵琶湖疏水通船事業」※を核として、疏水沿線地域の魅力をさらに高め、発信するため、新たに建造する船舶（3隻目）による企画便の運航や国内外に向けた事業PR等の取組を展開する。

※ 琵琶湖疏水において明治・大正期に広く活用された舟運を観光船として復活させた事業で、平成30年3月から本格運航を開始。

## 方針2 地域共生社会の実現

### 2-① 子どもたちが伝統文化・芸術に触れる取組の充実

子どもたちが、茶道・華道・能楽などの「ほんもの」の伝統文化・芸術を体験する機会を充実し、くらしの中に伝統文化・芸術が根付くまちづくりを推進

◆「中学生の能楽大連吟～未来～」の実施 **文市**（新規）（4,000）

◆小・中学生による伝統文化体験の充実（小学校における茶道体験，中学校における華道体験） **教育**（充実）（10,100）

### 2-② 「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進 **文市**（新規）（5,000）

各区役所・支所をはじめ、「衣食住」など生活文化に係る関連部署，地域で活動する市民団体等の連携のもと，暮らしの文化を通じたまちづくりについて話し合う「対話と交流の場」や，暮らしの文化を実際に体験するワークショップ等，日常生活で培われてきた暮らしの文化の価値を市民が見つけ直し，その価値を再認識する機会を創出・提供することで，地域固有の暮らしの文化を通じたまちづくりを進める。

区	事業名	事業概要	実施時期
北	稲わら文化継承事業	稲わら文化を継承するため， 「わらない体験」（稲わらで縄をなう体験） 「手作りの会」（しめ縄等，稲わら細工作りの手作り教室） 「どんど」（稲わら細工のお正月飾りと書初めをやぐらに入れて点火）を実施	10/1～1/31
上京	シンポジウム「応仁の乱後の上町下町」	上京の自治の礎となった「上町」「下町」についての講演やゆかりのある方々の対談等を実施	5/11
	オリエンテーリングラリー	上京区内のポイントを巡り，歴史や文化を学ぶオリエンテーリングラリーを実施	10/20， 11/24
	京都御苑で上京大茶会	京都御苑で野点・立礼式のお茶会を実施（1,500名の参加を想定）	11/2
	上京探訪まち歩きツアー	スマートフォンアプリ「京都遺産めぐり（上京探訪）」を活用したまち歩きを実施	未定
左京	左京・地域ゆかりの写真展	「京都の行事，風習」や「日常の暮らし」，「子どもの遊び」等，「左京らしい」文化の写真パネルで展示	第1回： 9/13～9/27 第2回：未定
中京	中京暮らしの文化・歴史絵巻（仮）の発行	①暮らしの文化，②伝統行事（地藏盆やお祭り），③番組小学校等の歴史的建造物，④町名の由来，⑤中京区の歴史年表等を掲載した冊子を発行	6月～2月
南	南区民ふれあいカフェ	南区の暮らしの文化に触れられる講演等	未定

	「暮らしの文化」編	を実施	
右京	「京北山国展」の開催	京北・山国地域に残る古文書や歴史資料を展示。また、講演会も実施する（ウィングス京都）	10/5～10/6
西京	西京区の歴史・文化に関するパンフレット制作	西京区の歴史・文化を解説したパンフレットを制作し、広く配布する	5/15～3/6
洛西	「京の年中行事」パネル展	「京の年中行事」に関するパネルを月ごとに制作して展示	4/1～3/31

## 2-③ 文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業 **文市**（新規）（13,100）

文化芸術による共生社会の実現に向けて、平成30年度に実施した事業の成果を踏まえ、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談窓口の設置、運営など、文化芸術の力により、社会課題の解決や困難の緩和につなげ、共生社会を実現するための基盤づくりに本格的に取り組む。

## 2-④ 祇園祭創始1150年記念事業 **文市・産観**（新規）（19,500）

我が国を代表する伝統行事である「祇園祭」は、平成31年には創始から1150年を迎える。また、祇園祭が重要無形民俗文化財に指定されて40年、ユネスコ無形文化遺産に登録されて10年にも当たることから、祇園祭を再認識するとともに、連続講座や記念講演、国内外への情報発信などを実施する。

## 2-⑤ 京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」 **文市**（新規・継続）（全体事業費295,947、うち政策分3,000）

### ◆船岡山を活かした魅力スポットの創出 **北区**（新規）（3,000）

歴史的・文化的資源を有する船岡山やその周辺エリアの更なる魅力向上を図り、地域住民はもとより観光客にも親しまれる魅力的なスポットの創出に、3年間の計画で取り組む。

### ◆北区「WA（わ）のこころ」創生事業 **北区**

### ◆上京区140周年記念事業～文化と絆で未来につなぐ～ **上京区**

### ◆左京・地域ゆかりの文化発信・継承プロジェクト **左京区**

### ◆中京区制90周年記念事業 **中京区**

### ◆東山区制90周年記念事業 **東山区**

### ◆やましな輝きプロジェクト **山科区**

### ◆下京区制140周年記念事業 **下京区**

### ◆地域ぐるみでの子育て支援の促進 **南区**

### ◆地域主体の賑わいづくりプロジェクト **右京区**

### ◆西京区の魅力と文化の発信～西京区認知度up大作戦～ **西京区**

### ◆伏見連続講座 **伏見区**

## 2-⑥ IPCC 総会京都市開催記念事業 **環境** (新規) (5,300)

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第 49 回総会が、「京都議定書」が大きく飛躍した「パリ協定」の着実な進展を支える「IPCC 京都ガイドライン」の承認を目指して 5 月に本市で開催。本総会に合わせて開催するシンポジウムなどを通じて、京都の「文化」の奥にある「自然との共生」や、「もったいない」、「しまつ」の精神などに基づく生活文化の再構築による、市民の価値観やライフスタイルの転換などの、平成 29 年 12 月に発表した「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」の理念の浸透に取り組み、市民、事業者の地球温暖化対策に関する更なる意識の向上及び活動促進を図る。

## 2-⑦ 西陣を中心とした地域の活性化 **総企** (新規) (10,000)

平成 31 年 1 月に策定した「西陣を中心とした地域活性化ビジョン～温故創新・西陣～」に基づき、多様な主体との協働による、文化を基軸とした新たな西陣の未来を拓く民間からの提案による活性化プロジェクトを立ち上げ、ビジョンの実現に向けた方策の具体化を図るとともに、分野や地域を越えた連携・融合を進め、つながりによる新たな展開を生み出していくため、市民や地域、事業者など多様な推進主体が集い交流する機会を作るなど、協働によるまちづくりを推進する。

## 2-⑧ 京都駅東部エリアの活性化 **総企** (新規) (4,500)

平成 31 年 3 月に策定した「京都駅東部エリア活性化将来構想」に基づき、地域や大学、施設、事業者など多様な主体の参画のもと、当該エリアの文化芸術資源等を活用した事業等を通じて、活性化の機運を高め、連携・共同の基盤づくりに取り組むことにより「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンの創生に向けたまちづくりを推進する。

## 2-⑨ 京都駅東南部エリアの活性化 **総企** (継続) (4,787)

平成 29 年 3 月に策定した「京都駅東南部エリア活性化方針」に基づき、「文化芸術」という新たな視点を取り入れたまちづくりを進めることで、「若者」を中心とした新たな人の流れを生み出し、京都駅東南部エリアの課題でもある人口減少や高齢化の進展に歯止めを掛けるとともに、本エリアと京都駅周辺地域の活性化の動きを連動させることで、京都全体の活性化を推進する。

## 2-⑩ 京都市立芸術大学整備事業 **行財政** (継続) (383,827)

京都市立芸術大学は、建学以来 140 年にわたり、国内外の芸術界や産業界で活躍する人々を輩出し、文化芸術の発展に貢献してきた。これまでの質の高い芸術教育を継承しながら、現在の京都芸大の抱える課題を解決し、京都芸大が世界に向けて一層の飛躍を果たすとともに、「市民に愛され、誇りに思っただけの大学」として、京都のまちとともに発展していくよう、京都の玄関口である JR 京都駅東部の崇仁地域への移転整備を進める。

2-⑪ 「障害者芸術」の活性化を契機とした新たな文化芸術の魅力発信事業 **保福**（充実）  
（1,500）

「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」の施行に伴い、障害のある方による文化芸術活動を推進するため、文化庁や障害者芸術関係団体と連携を図るとともに、新たな創作活動の掘り起こしや発表の場の確保、海外等からのアクセスを容易にするための作品のデジタルアーカイブ化等に取り組む。

2-⑫ 京町家の保全・継承推進事業 **都計**（新規）（2,600）

平成30年度に全面施行した「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」及び同年度に策定予定の「京都市京町家保全・継承推進計画」に基づき、京町家改修ガイドラインの作成・周知による改修の促進を図る。

2-⑬ 文化芸術によるまちづくりに向けた東九条地区歩行空間等整備事業 **都計**（新規）  
（20,000）

京都駅東南部エリア活性化方針に基づき、文化芸術を基軸としたまちづくりに向けて地区の魅力向上を図るため、地区内主要道路沿いを中心とした歩行空間整備に係る基本設計を実施する。

2-⑭ 歴史・文化都市京都における歴史まちづくり推進事業 **都計**（新規）（15,700）

本市における歴史まちづくりを更に推進するため、京都市歴史的風致維持向上計画を総括するとともに、市内の歴史的風致の分布状況を把握し、歴史的建造物や歴史的町並みの保全につながる重点区域拡大に向けた検討を行う。

2-⑮ 雨庭整備事業 **建設**（継続）（19,300）

「どこを見ても庭園のように設えられている」緑の文化首都・京都を目指して、京都の庭園文化を支える技術力を活かした、雨水を一時的に貯留する緑の空間「雨庭」の整備を進める。令和元年度は、四条堀川交差点北西角に設置する。

2-⑯ 無電柱化事業（京のみちづくり） **建設**（継続）（900,000）

日本を代表する歴史文化都市として、歴史的な景観の保全・再生が望まれる主要な文化遺産周辺、観光地等における無電柱化が重要な課題であり、地域の状況にあった整備を進め、魅力あふれる「京の道」の再生に取り組む。

2-⑰ 京の企業働き方改革総実践プロジェクト **産観**（継続）（13,600）

～京の企業「働き方改革」自己診断制度～

地域企業の働き方改革を推進するとともに、情報発信力を強化することにより、担い手確保につなげるため、地域企業が働き方改革の取組状況を自己診断し、その結果を魅力として、ウェブサイト「京のまち企業訪問」上で発信する。

この自己診断項目の中には、京都ならではの取組として、従業員の文化活動を推進するた

めの制度の有無を確認する項目なども含まれている。

### **方針3 都市間文化交流の更なる発展**

#### **3-① 国際博物館会議（ICOM）京都大会開催（大会開催記念イベント等の実施）** **教育**（新規） （51,000）

令和元年9月の京都大会開催にあたり、府市協調による大会開催記念イベントや本市独自の関連イベントを実施（大会参加者へのおもてなし事業、博物館関係者や著名人による対談や鼎談等）する。

#### **3-② 「観光と文化をテーマとした国際会議 第4回京都会議（仮称）」の開催** **産観**（新規） （45,000）

国際連合世界観光機関（UNWTO）及び国際連合教育科学文化機関（UNESCO）による「観光と文化をテーマとした国際会議」（観光と文化の連携方策、文化振興・保護、文化観光と都市再生等をテーマとした国際会議）の第4回会議が、本市・京都府の誘致により京都で開催されることから、その開催経費の一部を負担する。

#### **3-③ 京都・ボストン姉妹都市連携60周年記念事業** **総企**（新規）（6,000）（全体事業費14,915 うち政策分6,000）

京都・ボストン姉妹都市連携60周年の節目を迎えるにあたり、姉妹都市間・日米間での「人材交流」を大きなテーマとして掲げ、「文化交流等を通じたグローバル人材の育成」と「ライフサイエンスをはじめとする経済交流」を柱に、日米両文化を比較するフォーラムや音楽交流イベント等、両市間の絆を深め市民の国際交流を推進する事業を行う。

#### **3-④ 東アジア文化都市交流事業** **文市**（継続）（10,000）

「東アジア文化都市2017」の同時開催都市である中国・長沙市、韓国・大邱広域市とともに、引き続き青少年文化交流プログラムや文化芸術団体の相互派遣事業を実施し、多彩な文化交流事業を展開する。

## 市民・事業者と連携した取組例

### 4-① 世界遺産二条城を舞台にした国際的なアートフェア 「artKYOTO 2019」の開催

本年9月7日から9月9日までの3日間、世界のアートシーンを牽引するべく、世界遺産二条城を舞台に、国内外のギャラリー・美術商がそれぞれの審美眼に基づいたアート作品を展示・販売する国際的なアートフェアを開催。

### 4-② ICOM 京都大会／二条城・世界遺産登録 25 周年記念「時を超える:美の基準 Throughout Time : The Sense of Beauty」の開催

本年8月31日から9月3日までの4日間、世界遺産・元離宮二条城において、世界で活躍する日本の現代美術作家による展覧会「時を超える:美の基準 Throughout Time : The Sense of Beauty」が開催される。国際博物館会議 (ICOM) 京都大会とも連携したソーシャルイベント。

### 4-③ 「京都詩情」写真家 甲斐扶佐義 初回顧展の開催

「ニューイ・ブランシュ KYOTO 2019」のプログラムとして世界遺産・元離宮二条城において写真家 甲斐扶佐義の初回顧展を開催する。

### 4-④ ICOM 京都大会開催記念 東京富士美術館所蔵 百花繚乱 ニッポン×ビジュアル展

本年8月25日から9月29日まで開催。ICOM(国際博物館会議)京都大会を記念して、東京富士美術館が所蔵する3万点のコレクションの中から、日本美術の名品を展覧するもの。

### 4-⑤ THEATRE E9 KYOTO (シアター・イーナイン京都) のオープン

民間の小劇場の閉館・休館が相次ぐ現状に危機感を募らせた演劇関係者が立ち上がり、京都駅東南部に「THEATRE E9 KYOTO」を開場させ、令和元年6月にオープンした。

### 4-⑥ 京都国際映画祭

本年10月に第6回目を開催。京都の映画・映像資源を活用しながら、「映画都市・京都」を世界に広く発信するため、牧野省三賞等の顕彰事業、国内外の作品の招待上映、クラシック映画の上映、アート作品の展示、若手支援事業 (クリエイターズ・ファクトリー) 等を開催。

### 4-⑦ 京都国際写真祭 KYOTO GRAPHIE

文化首都・京都を舞台に開催される、日本でも数少ない国際的な写真祭。国内外の重要作家の貴重な写真作品や写真コレクションを、趣きのある歴史的建造物やモダンな近現代建築の空間に展示する写真祭。回を重ねるごとに好評を博し、これまでに約56万人が来場。本年年4月に第7回目を開催。